

11月 新着図書

リスペクト

著者名:ブレイディ みかこ
出版者:筑摩書房



2014年にロンドンで実際に起きた占拠事件をモデルとした小説。ホームレス・シェルターに住んでいたシングルマザーたちが、地方自治体の予算削減のために退去を迫られる。人種や世代を超えて女性たちが連帯して立ち上がり、公営住宅を占拠。一方、日本の新聞社ロンドン支局記者の史奈子がふと占拠地を訪れ、元恋人でアナキストの幸太もロンドンに来て現地の人々とどンドン交流し…。「自分たちでやってやれ」という精神(DIY)と、相互扶助(助け合い)と、シスターフッドの物語。

あなたが誰かを殺した

著者名:東野 圭吾
出版者:講談社

★★★ミステリ、ど真ん中。★★★最初から最後までずっと「面白い！」至高のミステリー体験。閑静な別荘地で起きた連続殺人事件。愛する家族が奪われたのは偶然か、必然か。残された人々は真相を知るため「検証会」に集う。そこに現れたのは、長期休暇中の刑事・加賀恭一郎。――私たちを待ち受けていたのは、想像もしない運命だった

運び屋円十郎

著者名:三本 雅彦
出版者:文藝春秋



その荷物、きっちり届けます。やり手の“運び屋”として江戸の街を駆け回る円十郎は、ある夜襲撃を受けるが、それは大きな災厄の始まりにすぎなかった。

蒼天の鳥

著者名:三上 幸四郎
出版者:講談社

大正13年。鳥取県鳥取市。女性の地位向上を目指し「新しい女」の潮流を訴える「女流作家」田中古代子は、娘の千鳥と内縁の夫の3人で、友人の尾崎翠もいる東京に引っ越しをする予定を立てていた。移住直前、活動写真「兇賊ジゴマ」の観劇中、場内で火事が。取り残された古代子と千鳥が目にしたのは、舞台上に立つ本物の「ジゴマ」だった！第69回江戸川乱歩賞受賞作。

銀座「四宝堂」文房具店

著者名:上田 健次
出版者:小学館

銀座のとある路地の先、円筒形のポストのすぐそばに行む文房具店・四宝堂。創業は天保5年、地下には古い活版印刷機までであるという知る人ぞ知る名店だ。店を一人で切り盛りするのは、どこかミステリアスな青年・宝田硯。硯のもとには今日も様々な悩みを抱えたお客が訪れる。困りごとを抱えた人々の心が、思い出の文房具と店主の言葉でじんわり解きほぐされていく。いつまでも涙が止まらない、心あたたまる物語。

ぼくはあと何回、満月を見るだろう

著者名:坂本 龍一
出版者:新潮社



「何もしなければ余命は半年ですね」がんの転移が発覚し、医師からそう告げられたのは、2020年12月のこと。だが、その日が来る前に言葉しておくべきことがある。創作や社会運動を支える哲学、坂本家の歴史と家族に対する想い、そして自分が去ったあとの世界について。幼少期から57歳までの人生を振り返った『音楽は自由にする』を継ぎ、最晩年までの足跡を未来に遺す、決定的自伝。著者の最期の日々を綴った、盟友・鈴木正文による書き下ろし原稿を収録。

百鬼園事件帖

著者名:三上 延
出版者:KADOKAWA

舞台は昭和初頭の神楽坂。大学生の甘木は、何事にも妙なこだわりを持ち、屁理屈と借金の大名人である教授・内田榮造先生と親しくなる。先生と行動をとるうちに、甘木は徐々に得体の知れない怪奇現象に巻きこまれるようになる。不可思議な事件を颯爽と解決して回る先生には、何か切実な目的があるようで…。偏屈教授と平凡学生が、怪異と謎を解き明かす。

百鬼大乱

著者名:真保 裕一
出版者:講談社

将軍への野心を抱く鎌倉公方。ついに足利義教の討伐を受け、断絶。乱れた関東を治めるため新たな公方が選ばれるも、管領上杉家と軋轢が続く。意地と誇りがぶつかり合い、関東を二分する戦いとなる。命がけで公方を守る築田持助。上杉を支える太田道灌。両者の才知をつくした戦いを活写する歴史巨編。知られざる関東の戦国が今、明らかに。

リカバリー・カバヒコ

著者名:青山 美智子
出版者:光文社

新築分譲マンション、アドヴァンス・ヒル。近くの公園にある古びたカバの遊具・カバヒコには、自分の治したい部分と同じ部分を触ると回復するという都市伝説が。アドヴァンス・ヒルの住人は、悩みをカバヒコに打ち明ける。成績不振の高校生、ママ友と馴染めない元パレル店員、駅伝が嫌な小学生、ストレスから休職中の女性、母との関係がこじれたままの雑誌編集長。みんなの痛みにやさしく寄り添う、青山ワールドの真骨頂。

銀座「四宝堂」文房具店 2

著者名:上田 健次
出版者:小学館

感動の声、続々。待望のシリーズ第2弾！銀座の文房具店「四宝堂」は絵葉書や便箋など、思わず誰かにプレゼントしたくなる文房具を豊富に取り揃える、知る人ぞ知る名店だ。店主を務める、どこかミステリアスな青年・宝田硯。硯のもとには、今日も様々な悩みを抱えたお客が訪れる。

11月

新着図書

推し、燃ゆ

著者名:宇佐見 りん
出版者:河出書房新社

「推しが燃えた。ファンを殴ったらしい」。高校生のあかりは、アイドル上野真幸を解釈することに心血を注ぎ、学校も家族もバイトもうまくいかない毎日をなんとか生きている。そんなある日、推しが炎上しー。第164回芥川賞受賞のベストセラー。時代を映す永遠の青春文学。2021年本屋大賞ノミネート。

チーム紫式部！

著者名:楠木 誠一郎
出版者:静山社

2024年度NHK大河ドラマで注目！ 世界最古の恋愛小説といわれ、いまなお世界で(日本だけじゃなく「世界」で!)読みつがれている『源氏物語』を紫式部が書いたとされるのは、いまから千年以上も昔のこと。そんな大昔に、あの長編がどうやったら書けたのか……。さまざまな説やうわさが流れていますが、ここだけの話、『源氏物語』はこうして誕生したのです。なるほど、そう言われてみれば納得できる(かも)? 信じるか信じないかはー。

そもそもこの世を生きるとは 新装版

著者名:佐藤 愛子
出版者:リベラル社

苦闘の末に手に入れた境地。愛子センセイの元気がわき出る珠玉の箴言集。

そらまめくんのごめんなさい

著者名:なかや みわ
出版者:小学館

そらまめくん と なかなかお、できるかな? そらまめくんとおまめのなまが遊んでいるうちに、けんかになってしまいました。あーあ、そんなつもりなかったのに…ちゃんとあやまれればよかったな、いやなことしちゃったな、えっと…あのね……「ごめんなさい」!けんかになってしまったときの悲しい気持ち、すぐに謝れなくてもじもじしてしまう様子もわかりやすく描かれています。子どもたちの日常によくある光景ですが、「ごめんなさい」が言えたらもっと仲良くなれるんだ、と素直に謝る気持ちを育てることができます。

